

PCSA アクションレポート（理事会）

平成 30 年 8 月版

8 月通常理事会

開催日時 平成 30 年 8 月 23 日（木） 正午 12 時～午後 1 時 30 分
開催場所 TKP ガーデンシティプレミアム神保町 3 階「フォレスト」
出席者 理事 5 名（委任状出席理事 3 名）、幹部 4 名、合計 9 名

<副代表理事>

大石 明德 株式会社ニラク 取締役
齊藤 周平 株式会社グランド商事・アドバンス 常務執行役
金本 朝樹 株式会社アメニティーズ 代表取締役社長

<理事>

石川 直史 株式会社ワールド 代表取締役社長

<専務理事>

中島 基之 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会

<委任状出席理事>

藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役社長
山田 孝志 株式会社 TRY&TRUST 代表取締役社長
福井 宏彰 株式会社ポネール アミューズメント事業部 次長

<監事>

川辺 悦史 株式会社セルノ 取締役会長

<モデレーター>

佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長

<アドバイザー>

牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表
藤田 宏 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長

第 1 号審議議案「改善要望 8 項目（余暇進理事起案）」審議【継続審議】

当件について事務局より説明があった。

現在、弊協会、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会及び一般社団法人余暇環境整備推進協議会と 3 団体協議会を構成し、ホールの抱える課題について意見交換をしているが、平成 30 年 8 月 1 日開催の第 4 回 3 団体会議で余暇進の渡邊理事より 8 項目の改善要望が提出され説明があった。

参加 3 団体ではこの 8 項目を持ち帰り、各団体でそれぞれの項目について検討をし、次回にそれぞれの団体の意見として持ち寄ることとした。

<意見>

- ・8 項目について、1 個 1 個検証するのは膨大な時間が必要。
- ・根本的な議論が必要。カジノがスタートし、1 年か 2 年で具体的な候補地も明らかになる。そのような状

- 況の中で、パチンコ業界の将来をどうとらえるか？ 今まで同様に行政の行動を待っているのも一つ。2 つ目は、カジノが生まれるので、パチンコとカジノの違いを明確にすべき。娯楽の位置づけを明確にすべき。
- ・全日遊連の阿部理事長もパチンコとカジノの違いを明確にしたいと業界誌で言っていた。そこに議論を持ち込むべき。
 - ・パチンコとカジノの違いは射幸性だと思う。カジノは無制限、どの程度なら娯楽になるのか、有識者も含めて考えたい。
 - ・パーツパーツの議論は出来ないなので、その前に全体の考えを出したい。この8項目は技術的な話。まずは、パチンコ業界をどう生き残らせるか、大衆の支持を得て、生き残っていくか、というところに議論を持っていきたい。

第2号審議議案「PCSA 正会員 休会」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。

<休会希望正会員>

会 員 名：千里丘観光開発株式会社

代 表 者：武友 良雄

休会期間：平成30年9月1日～平成32年8月31日

休会理由：現在3店舗に縮小し、パチンコホール経営以外の事業にも注力している現状で、部会の参加も出来ない状況から、休会を申し出た形です。勝手に申しますが、宜しくお願い致します。

<意見>

- ・異議のしようがない。

<審議>

議長：それでは、千里丘観光株式会社の休会について、ご承認いただけるか？

一同：異議なし。

第3号審議議案「10月拡大理事会 in 名古屋」審議【承認】

「10月拡大理事会」開催概要（案）

<概要>

開催日：平成30年10月18日（木）

スケジュール：午後2時45分～3時45分 ≪第70回遊技法研究会≫

午後4時～5時30分 ≪10月拡大理事会≫

午後5時45分～7時30分 ≪情報交換・交流会≫（会費@5000円）

開催場所：TKP名古屋ルーセントタワー

「会議室 J」（会議）および「会議室 K」（情報交換交流会）

住所：愛知県名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー16F
（名古屋駅徒歩5分）

電話：052-589-3212

※愛知県の会員・賛助会員並びに非会員の業界企業に声掛けをする。

※今回は1日のみの開催とし、翌日にストアコンパリゾンは開催しない。

<意見>

- ・外部の方は名古屋の会員を呼んだ上で、誘っていただきたい。
- ・情報交換会以外にも催し物を実施してほしい。
- ・昨年の大阪の研究部会報告は響く感じが無かった。他の事がいい。

<審議>

議長：それでは、10月18日に名古屋で拡大理事会を開催する事、情報交換以外の催し物を9月理事会までに起案するという事でよいか？

一同：異議なし。

第4号報告議案「第17期第1回臨時社員総会・第65回公開経営勉強会」報告

当件について事務局より説明があった。

<スケジュール>

14:00～15:00 <第17期第1回臨時社員総会>

14:00 開会宣言（齊藤 周平 副代表理事）

14:05 総会議案

14:20 新入会員挨拶 株式会社大平商会

14:25 研究部会・研究会・プロジェクトチーム 第17期第一四半期活動報告

14:45 第11回PCSAメディアアワード2018 表彰式 株式会社アミューズメントプレスジャパン

15:00 閉会宣言（石川 直史 理事）

15:30～17:45 <第65回PCSA公開経営勉強会>

15:30 開会挨拶（齊藤 周平 副代表理事）

15:30 第1部『PCSA法律ハンドブック2018』について

講師：三堀 清 弁護士（三堀法律事務所 所長）

荒田 政雄 法律問題研究部会 リーダー

生島 靖也 法律問題研究部会 部員

佐久間 仁 法律問題研究部会 部員

16:45 第2部『規則改正後の遊技機について』

講師：栢森 秀行 様（フィールズ株式会社 グループ経営戦略室 企画課）

17:45 閉会挨拶（大石 明德 副代表理事）

第5号報告議案「平成30年度RSN費用負担」報告

当件について事務局より説明があった。

理事会で決まった通り、特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワークに業務委託料として100万円を振り込む。8月24日に振り込む予定。

第6号報告議案「PCSA経由平成30年度機構負担金」報告

当件について事務局より説明があった。

平成29年12月31日現在の店舗数と全日加盟ホール数を調査。全日非加盟ホールは拋出団体を選び、そこから遊技台1台当たり48円を拋出する。

本年度PCSAを経由するものは、188ホール、89,906台、431万5488円となる。

<意見>

- ・昨年の12月31日現在となっているが、支払いはこれからのはず。アップデートした方がいいのではないかと
思うが、確認をして欲しい。 > 事務局にて確認をする。

第7号報告議案「PCSA パチンコホール法律ハンドブック 2018」報告

当件について事務局より説明があった。

本日、「法律ハンドブック 2018」を発行する。発行部数は2000冊で1334冊を進呈、666冊を販売する。定価は税込3000円で、会員・賛助会員・特別会員は1500円で販売。制作費用は製本代で140万6376円、1冊約700円。同時にニュースリリースも出す。

<意見>

- ・ニュースリリースの発信先は？ > 報道関係、ホール、メーカー、県遊協、政治分野アドバイザー、法曹界、労働組合など
- ・ホールの人達に購入して活用してもらいたい。
- ・業界誌に掲載するようにしてほしい。
- ・組合に案内を送れば会員に情報が行き渡る。

第8号報告議案「PCSA チャレンジブック 2019」報告

当件について事務局より説明があった。

本日、「PCSA チャレンジブック 2019」を発行する。発行部数は1300部。送り先は添付の一覧の通り。費用は43万2216円。例年の約半額となっている。

<意見>

- ・協会活動の広報として各方面に配ってほしい。

第9号報告議案「PCSA データベース 2018」報告

当件について事務局より説明があった。

本年で10年目となる「PCSA データベース 2018」を集計した。

<目的>

PCSA データベースは、会員アンケートデータを元に業界規模を類推し、パチンコ産業が日本にとって必要である、ということアピールする事を目的として実施。

<今回のアンケート実施状況>

平成30年7月22日を締め切りとして、正会員22社、賛助会員・特別会員38社にアンケートをお願いした。そのうち、正会員から12社、賛助会員からは16社の回答を得た。

<発表内容>

今回発表する内容は、例年の通りであるが、「パチンコホールの売上高」「パチンコホールの雇用人数」「パチンコホールの法人税納税額」の3種類。

類推方法は、アンケートにお答えいただいた会員企業の数字を、台あたりの数字にして、それを昨年12月末日に警察庁が発表した遊技機台数443万6841台を掛けて算出した。

<パチンコホール売上高>

こちらの項目は回答11社、PCSAで類推したパチンコホールの売上高は17兆3924億円であった。昨
年が18兆7119億円だったので、約7.1%の減少。

ダイコクSIS白書2018の売上高は18兆6000億円、昨年は20兆1000億円。

レジャー白書2018は19兆5400億円で、昨年は21兆6260億円。

＜パチンコホール雇用人数＞

こちらの項目は回答 12 社、PCSA で類推したパチンコホール雇用人数は 23 万 5153 人であった。昨年は 24 万 4364 人。

総務省の平成 28 年経済センサス活動調査によると、パチンコホール雇用人数は 22 万 9441 人、平成 26 年版は 25 万 1885 人であった。

＜パチンコホール法人税納税額＞

こちらの項目は回答 5 社、PCSA で類推したパチンコホール法人税納税額は 709 億円となった。昨年は 724 億円。

サービス業の法人税額に占める割合について。全体が 1 兆 6029 億円なので、その約 4.4%がパチンコホールの法人税と類推できる。同様に法人税の総額は 12 兆 1670 億円なので、約 0.58%がパチンコホールからの納税と類推できる。

＜意見＞

- ・売上高は貸玉料金ベースと言ってほしい。
- ・データは過去にさかのぼって並べて行って欲しい。 > 表を作成する。

第 10 号報告議案 「PCSA 正会員退会」報告

当件について事務局より説明があった。

＜退会正会員＞

会社名：株式会社テンガイ

代表者：平本 二郎

理 由：PCSA 主催の交流会等へ参加する機会を確保できない為。

第 11 号報告議案 「業界団体活動」報告

当件について事務局より説明があった。

＜第 11 号報告議案－1＞

「性能表示モニタの試験運用に伴うデータ収集の協力をお願い」について

平成 30 年 7 月 27 日付で日工組より表題のお願いが届いた。内容は 2 月以降の新機種から必ず搭載されている性能表示モニタの運用を前にデータを収集したいとの事。メーカーおよび委託業者が性能表示モニタに表示される「bL」「b1」「b2」「b3」の数値をチェックする。その協力のお願いをメーカ・からホールにしているという案内。

＜第 11 号報告議案－2＞

「遊技機性能調査の結果（概要）について（お知らせ）」

平成 30 年 7 月 24 日付で一般社団法人遊技産業健全化推進機構より表題の文書が届いた。平成 27 年 6 月 1 日から本年 5 月末日までの 3 年間の一般入賞口の入賞状況の調査結果となる。当初一般入賞口に 10 個以上入賞した機械は無かったが、直近では全ての台で 10 個以上入賞している。

＜意見＞

- ・今後は試打するのではなく、約比モニタの数字をチェックした方がいい。量も正確性も上。

その他

- ・PCSA スケジュール

次回開催

「10月拡大理事会 in 名古屋」

開催日：平成30年10月18日(木)

スケジュール(案)：	午後2時45分	～	3時45分	《第70回遊技法研究会》
	午後4時	～	5時30分	《10月拡大理事会》
	午後5時45分	～	7時30分	《情報交換・交流会》

開催場所：TKP 名古屋ルーセントタワー (名古屋)

以上